一般質問

市政を問う

定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は23人の議員が質問に立ち、47項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。　※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。
- ➢第３回定例会の会議録は、11月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。
- ➢会議録検索システムは、11月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継

本会議および常任・特別委員会の様子を市議会のホームページからご覧ください。
- ➢開催日に生中継を配信します。
- ➢録画中継は、本会議当日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から配信します。
- ➢スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

---

1 須崎貴寛（自由民主党）

夢ある日野の羅針盤づくり～新たな観光戦略と丘陵地の交通インフラ～

問　丘陵地ワゴンタクシーの課題認識を問う。

答　コロナ禍による利用者の減少が課題です。今後、コロナ後の利用状況を想定し、ＡＩを活用した運行の効率化や利用促進に向けた取り組みなど、持続可能な公共交通となるよう検討します。

問　高幡台団地地区のまちづくりについて

答　高幡台団地73号棟の跡地活用を問う。地区まちづくり計画では、生活利便機能、子育て環境の充実、多世代コミュニティーの拠点整備などを位置づけていますが、民間事業者の参画意向が低調なため、ＵＲ都市機構による公募には至っていない状況です。

2 池田としえ（無会派）

コロナワクチンの危険性を示す論文千件超え！５歳～11歳接種努力義務に反対！

問　血中抗体の感染予防にオミクロン株のワクチンは効果があるか。

答　厚生労働省によると、現在使用のメッセンジャーＲＮＡワクチンは、ウイルスのタンパク質を作るもとになる遺伝情報の一部を注射し、それに対する抗体などが体内で作られることによりウイルスに対する免疫ができる仕組みと説明しています。

問　図書館の充実と各施設でＷｉ－Ｆｉ利用できるようにせよ！

答　市政図書室を除く６館でフリーＷｉ－Ｆｉが利用できます。電源供給は、電源席を設置し、パソコン持参者などが利用しています。

3 白井なおこ（無会派）

いつ、どこへ避難する・しない？～命を守る判断力と行動力を日常から育むために～

問　新ハザードマップの策定内容を問う。

答　昨年度の地域防災計画の修正内容を反映させ、地図上に洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップを一つに表示し、避難経路や避難先の検討を行いやすくします。

問　雨水タンク設置促進のための補助制度を問う。

答　創設を検討します。投票をあきらめずにすむ取組を！

問　選挙管理委員会の取り組みを問う。

答　投票環境については、国と都のルールにのっとり、市独自で実施できる部分は実施し、今後も選挙人の利便性及び投票率向上に努めます。

4 伊東秀章（無会派）

日野市動物への取組について問う

問　さくらねこ事業の現状について問う。

答　飼い主のいない猫に起因する相談が増える中で、市内にさくらねこ事業を取り扱う病院が一カ所しかなく、集中してしまうことが課題です。子どもの居場所について～

問　予防策について市の取り組みを問う。

答　教員による日々の授業改善や生活指導の能力向上が大切であり、職層に応じた各研修会の充実に取り組んでいます。

問　市内に４カ所あるほうとも事業所間での情報共有はされているのか。

答　市では定期的に全事業所合同の意見交換の場を設けています。不登校について

問　さくらねこ事業の現状について問う。

答　飼い主のいない猫に起因する相談が増える中で、市内にさくらねこ事業を取り扱う病院が一カ所しかなく、集中してしまうことが課題です。子どもの居場所について～

問　予防策について市の取り組みを問う。

答　教員による日々の授業改善や生活指導の能力向上が大切であり、職層に応じた各研修会の充実に取り組んでいます。

問　市内に４カ所あるほうとも事業所間での情報共有はされているのか。

答　市では定期的に全事業所合同の意見交換の場を設けています。不登校について～

問　川辺堀之内土地区画整理事業における企業公社職員など10人への不適切な手当の支払いに関する調査状況を問う。

答　事実関係の整理を行い、不適正額を判定しているとのことです。

問　旧たかはた保育園賃借料の妥当性を問う。

答　不動産鑑定の結果、地域水準適正額以下であり、補助要件を満たすため妥当と判断しました。

問　旧たかはた保育園機能移転に伴う土地交換の調整について、市の認識を問う。

答　過去からの経緯や当時の状況を踏まえた中で、調整をしながら進めていたものと認識しています。

5 奥住匡人（自由民主党）

財政非常事態の現状と今後の認識を問う！

問　歳入の確保を問う。

答　既存の税や手数料、使用料など、受益の程度に応じ、適正な水準の負担となるよう検討し、必要な見直しを行うとともに、クラウドファンディングなど新たな歳入手段の導入に向け検討します。

問　利用者の今後の活動拠点を問う。

答　体育館や貸室利用者については、他施設への移行支援を行います。校庭利用者に対しては、日野市遊び場条例の一部改正を今議会で行うことで、校庭を新たな運動広場として、引き続き利用できることを目指します。

問　旧百草台小学校・百草台コミュニティセンターの今後の利活用について

答　利用者の今後の活動拠点を問う。

答　体育館や貸室利用者については、他施設への移行支援を行います。校庭利用者に対しては、日野市遊び場条例の一部改正を今議会で行うことで、校庭を新たな運動広場として、引き続き利用できることを目指します。

6 わたなべ三枝（日本共産党）

加齢による難聴を早期に発見し、適切な対応で豊かな人生を―補聴器購入費補助について問う

問　補助の仕組みを問う。

答　聴こえに心配が出始める65歳以上を対象と考え、多くの高齢者が利用できるよう、都内自治体の状況を参考に所得制限の設定を検討します。

子どもの貧困―お腹をすかせた子どもへの支援は急務！

問　子ども食堂の実態と市の支援について問う。

答　現在、４団体による、月１回程度の食堂実施を把握しています。団体への支援として、連絡会を開催し、情報提供や団体間の橋渡しや広報面での協力を行っています。今後も連絡会での意見や課題などを参考に団体の運営を支援します。

7 中野あきと（日本共産党）

次々に明らかになる市政をめぐる不正の事実、重大な疑惑！～不正腐敗の一掃へ、断固たる決意で真相の全面的解明を～

問　川辺堀之内土地区画整理事業における企業公社職員など10人への不適切な手当の支払いに関する調査状況を問う。

答　事実関係の整理を行い、不適正額を判定しているとのことです。

問　旧たかはた保育園賃借料の妥当性を問う。

答　不動産鑑定の結果、地域水準適正額以下であり、補助要件を満たすため妥当と判断しました。

問　旧たかはた保育園機能移転に伴う土地交換の調整について、市の認識を問う。

答　過去からの経緯や当時の状況を踏まえた中で、調整をしながら進めていたものと認識しています。

8 新井とも はる（無会派）

保育は「量の確保」から「質の向上」が問われる時代へ、いよいよ始まる小学校に円滑に接続する「幼保小の連携」

問　保育の質を高めるための取り組みを問う。

答　保育の質の向上につながる取り組みとして保育フェアを実施しています。さらに指導検査を実施し、各園の状況を確認し、助言や情報提供などの共有を行っています。

問　市の補助金制度の見直しについて見解を問う。

答　運用状況などの調査を行い、今年度ガイドライン策定を目指します。

9 ちかざわ美樹（日本共産党）

地下壕のある三沢八幡神社脇斜面地問題を問う～市長は住民と力をあわせ安全確保を！

問　地下壕のある箇所の安全を市はどのように担保するのか。

答　事業者に対して地下壕対策を求めるとともに、今後、まちづくり条例に定める開発事業が行われた場合、都と連携し、周辺住民への説明会や話し合いにより、不安の解消に努めるよう指導します。災害は待ってくれない～洪水時の「避難計画・体制づくり」を住民参加で

問　洪水発生時における避難体制を問う。

答　東京マイ・タイムラインなどを活用した日常的な避難活動の周知啓発を継続し、適切な避難を促します。

10 窪田知子（公明党）

だれ一人取り残さない　子ども支援について

問　子どもたちの悩みにどのように寄り添い、支援しているのか。

答　小・中学校ではアンケート調査を行い、困り事や不安など、さまざまな問題把握に努めています。また、ＳＯＳの出し方に関する教育を通じて、周囲への助けの求め方を伝えています。

問　子どもの貧困対策に関する基本方針と子ども包括支援センターの基本計画との整合性を問う。

答　子ども包括支援センター設置に向けた基本方針のうち、義務教育終了後の支援などの施策は、子どもの貧困対策に関する基本方針にも施策として盛り込んでおり、相互に連結、連動するなど、整合性が図られた内容となっています。

11 佐藤琢磨（無会派）

ひとにやさしいデジタル　その①Ｐａｙｐａｙ、高齢者見守り、道路や公園などの損傷通報システム、ＬＩＮＥを窓口とした「持ち運べる役所、来なくても良い役所」

答　情報を収集します。

問　地域のおもいただきながら取り組みます。

答　地域のおもいただきながら取り組みます。地域利用を要請します。

12 岡田じゅん子（日本共産党）

声なき声に向き合おう！～多様なひきこもり支援策実現へ、日野市が行うべきこととは

問　ひきこもりの相談件数を問う。

答　福祉の初期総合相談窓口やひきこもり個別相談会で、令和２年度延べ67件、令和３年度延べ68件と高い相談需要が続いています。

外国につながる子どもたちへ、きめ細やかな学習支援を！～多文化共生のため、必要とされる視点とは

問　日本語学習支援ボランティア養成講座とは。

答　３か月間全10回のプログラムにより、母国語や国の文化を尊重し、アイデンティティを大切にしながら日本語を教える方法を学ぶ内容です。

13 島谷広則（チームみらい）

公共施設・インフラ「維持管理・修繕」の現状と、予防保全強化など今後の対応を問う

問　小・中学校の設置後20年を経過しているエアコンの数は。

答　現在、36部屋での設置を把握しています。

問　公共施設等総合管理計画において平成27年度から昨年度までの公共施設の更新など費用の試算額と実績額を問う。

答　決算額約215億円は、試算額約391億円に対し、約176億円少ない状況です。

改正大気汚染防止法（アスベスト飛散防止対策）周知・啓発と今後の対応について、日野市に問う

答　より多くの方に周知できるよう、さまざまなメディアの活用も視野に入れ、適切に対応します。

---

14 森沢美和子（チームみらい）

市民の命を守り、健康で文化的な生活を送るために～水害対策と多摩川堤防遊歩道の整備と連携について～

問　止水板設置に対する市の助成について問う。

答　今後の水防対策の在り方、他市の動向などを踏まえ、調査研究します。

問　多摩川堤防上道路の道路幅確保のための除草作業について問う

答　国土交通省が年２回、市が年３回、除草作業を実施しています。連携の更なる強化とコンプライアンス姿勢について～法曹有資格職員の任期付き採用について～

問　法曹有資格職員の業務は誰が引き継ぐのか。

答　さまざまな分野に精通した弁護士を活用するなど、継続的に行います。

15 田原茂（公明党）

ひきこもり・不登校・ヤングケアラー問題のその後

問　居場所づくり事業について問う。

答　今年度、西平山において空き家を活用して事業の運用を開始しました。社会的孤立や不安の解消、防止などにつながる場所になるよう運用します。

問　不登校特例校について施策の根底に位置づけられています。子どもが現実に直面している問題や権利の視点から解決していくためのルールとして、子どもたちのために実現に努めます。

「子どもに自衛隊を見学させるイベント」の闇について問う

問　今回の企画から何を教訓とすべきか。

答　市民に誤解が生じないよう、周知内容の検証を徹底します。

答　教育課程の編成のほか人員確保や施設整備などの課題もあり、現段階で設置は計画していませんが、他自治体の設置校を参考にしながら調査研究をしていきます。

問　ヤングケアラーに関する研修の実施状況は。

答　今年度は民生・児童委員協議会と連携し、地域の見守りを担う民生・児童委員や市内の関係機関、市職員が共に学ぶ勉強会を実施しました。

16 奥野りん子（無会派）

子ども包括支援センター開設に当たり、日野市子ども条例の見直しと、子ども若者支援推進法に基づく新条例の制定を！

問　子ども基本法の制定を受け、日野市子ども条例改正について問う。

答　本条例は、子ども基本法と主旨を同じくするものであり、全ての子育て施策。

17 有賀精一（無会派）

万願寺中央公園の未来について

答　一部老朽化した施設の修繕や撤去を行い、適切な維持管理に努めます。

「小学生を自衛隊駐屯地へ」公民館企画を問う

問　退職自衛官と事業の関わりを問う。

答　関わりはありません。

18 中嶋良樹（チームみらい）

交通事故ゼロのまちを目指して～子ども用自転車ヘルメットの購入支援を～

問　補助制度創設を問う。

答　安全な自転車利用の促進を図ることが重要と考え、他市の状況や市の財政状況、国や都との連携も視野に検討します。

スタジアム・アリーナ構想の実現を！～東京2020大会のレガシーを発展～

問　令和６年度東京都予算編成に対する要望活動を問う。

答　東京都市長会を通じ、改めて東京２０２０大会のレガシー関連事業の重要性を説明し、重点要望となるよう努力します。

問　構想の実現性を問う。

答　市の財政状況、公共施設の在り方など総合的に勘案すると、現状では厳しいと考えます。

19 伊藤あゆみ（自由民主党）

日野市私道整備事業補助交付金について一定条件を満たした私道に対する補助金の引上げを求む

問　段差や亀裂など大型車の通行で地盤沈下した私道に対し、市の救済は。

答　私道整備に関する補助制度は、交付要綱の要件を満たすとともに、予算化が前提となります。

～続～妊娠前からの子育て支援　日野市が主体となった不妊症検査実現で妊娠期からの子育て支援と共に安心して命を守り育めるまち日野を目指そう!!

問　妊娠前からの子育て支援に対する市の見解を問う。

答　今後も国や都の妊娠前の健康管理を促す取り組みを注視し、情報提供などの支援を行います。

20 谷和彦（自由民主党）

ＳＤＧｓが日野市を変える―身近なことから脱炭素・気候変動―無駄を解消

問　庁用車として使用している水素自動車や電気自動車の導入状況と今後の計画について問う。

答　水素自動車は本庁舎に１台、電気自動車は市内９施設に12台配備しています。今年度、電気自動車４台を追加予定です。

問　下水道マンホールの安全対策について問う。

答　マンホールのふたには、鍵付きとはめ込み式のものがあり、はめ込み式は内圧により吹き飛ぶ危険があるため、計画的に鍵付きに交換します。

スポーツＳＤＧｓの取り組みについて問う。

答　体験教室など気軽に参加できるイベントを実施し、スポーツに接する機会を創出することでＳＤＧｓ実現を図ります。

21 馬場賢司（公明党）

今後の公共施設の在り方等について

問　公共施設の今後の方向性を問う。

答　施設の老朽度や利用状況などを踏まえ、施設を集約化し、適切な保有量に抑えていくことを念頭に置きつつ、まちづくりの計画との整合性を図ります。

問　まんがんじ児童館の今後の方向性を問う。

答　現在の建物の許可期間が令和８年３月末までであり、老朽化も進んでいることから、児童館機能を継続できるよう、第６次行財政改革実施計画などを踏まえ検討します。

問　複合化、多機能化のメリットを問う。

答　複数の施設と機能が集約されることで、跡地の有効活用、維持管理や運営コスト削減、多世代交流の促進、地域の核の形成などが期待されます。

22 峯岸弘行（公明党）

日野市民の健康と命を守る施策について

問　がん患者へのウイグなどの購入助成を問う。

答　市民ニーズや国、都および26市の動向を見極め、調査検討を進めます。

ｗｉｔｈコロナにおけるまつり・イベント・賑わいの創出と商店街・観光施策について

問　デジタル活用による商店活性化支援を問う。

答　事業者が主体となって実施するデジタルツールなどを活用した事業への支援を行います。

百草台団地の困りごと支援策について

問　後継商業施設誘致の見通しを問う。

答　ＵＲ都市機構が、事業者の公募を開始したのことですが、誘致について引き続き要望します。

主な議題

令和４年第３回定例会で審議された主な議題を紹介します。（議案名は一部要約しています）

●百草台コミュニティセンター条例の廃止（可決）

施設建築物の老朽化に伴う安全性の観点から事業継続が困難なため、百草台コミュニティセンターを廃止するものです。（令和５年１月１日施行）

●職員等の内部通報に関する条例の一部改正（可決）

市における内部統制を中心としたコンプライアンスの推進に関する取り組みの強化を図るためコンプライアンス委員会を設置するものです。（公布の日から施行）

●令和４年度一般会計補正予算（第６号）（可決）

新型コロナウイルス感染症および原油価格・物価高騰への対応など早急に対応が必要なものに、50億３千389万円を追加するものです。

●令和４年度一般会計補正予算（第７号）（可決）

コロナ禍を踏まえ、市立病院に求められるものとは。

問　地域医療構想、地域包括ケアシステムの一翼として、構築してきた関係機関との機能分化、連携強化を進め、地域医療の受け皿として、地域を支えることが使命と考えます。

23 鈴木洋子（自由民主党）

苦境の親と子への支援を厚く、最優先に

問　子どもの貧困対策への組織体制について問う。

答　関係機関が広範囲で多岐にわたっているため、組織横断的な強い連携体制の構築を検討します。

問　ヤングケアラーへの今後の対応について問う。

答　支援に資する現在の制度を踏まえ、強化する施策や新たに追加する施策の検討を行います。

今の安心と希望の明日を市民に届けよう

問　コロナ禍を踏まえ、市立病院に求められるものとは。

問　地域医療構想、地域包括ケアシステムの一翼として、構築してきた関係機関との機能分化、連携強化を進め、地域医療の受け皿として、地域を支えることが使命と考えます。

令和４年第１回臨時会で審議された議題を紹介します。

●権利の放棄に伴う議会責任に関する緊急決議（可決）

権利の放棄の要因である民事訴訟判決を受け、議会も市民からの信頼回復や原告団との合意を尊重し、多くの市民が納得できる違法性の解消に向けた取り組みについて、監視していく必要がある。

一方で、都市計画法上違法とされた本事件に関しては、議会における議決を経て、進められたものであり、議会としても責任を重く受け止めなければならない。二元代表制として議会が市長に対して相互抑制と均衡の関係性を保たなければならない。

責任を果たしていくためには、今回を契機とした更なる議会のチェック機能の向上が求められる。

ついては、今回の権利の放棄に伴う議会の責任を果たせるよう、将来に向けて議会が持つべき機能について合意形成を図るため、議会として一団となって協議して取り組むことをここに決議する。

全ての議案の審議結果は６面に掲載。

令和3年度　政務活動費について

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するための経費の一部として、会派に対し、会派の所属議員数に月額４万５千円を乗じて得た額を交付しています。令和３年度に交付された政務活動費の支出状況について、下表のとおり報告します。

令和3年度　政務活動費会派別費目別支出内訳

会派名	自由民主党 日野市議団		公明党		日本共産党 日野市議団		チームひの		無会派							
所属する議員名	蛭田智也 鈴木洋子 奥住匡人 古賀壮志 谷　和彦		大塚智和 峯岸弘行 窪田知子 馬場賢司 田原　茂		渡部三枝 岡田句子 近澤美樹 大高哲史 中野昭人		森久保夏樹 島谷広則 森沢美和子 白井菜穂子 秋山　薫		新井ともはる		伊東秀章		奥野りん子		池田利恵	
費目	金額(円)	率	金額(円)	率	金額(円)	率	金額(円)	率	金額(円)	率	金額(円)	率	金額(円)	率	金額(円)	率
交付額	2,700,000		2,700,000		2,655,000		2,655,000		540,000		540,000		540,000		495,000	
調査研究費	949,454	29.5%	1,266,083	45.0%	232,541	51.8%	1,239,675	46.6%	358,064	66.3%	160,664	29.7%	0	0.0%	123,535	20.0%
研修費	0	0.0%	41,000	1.5%	33,000	7.4%	10,500	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
広報費	1,673,778	51.9%	765,162	27.2%	0	0.0%	796,970	30.0%	180,000	33.3%	180,000	33.3%	180,000	33.9%	132,000	21.3%
広聴費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
要請・陳情活動費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
会議費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資料作成費	16,996	0.5%	135,638	4.8%	19,648	4.4%	32,374	1.2%	0	0.0%	40,947	7.6%	0	0.0%	0	0.0%
資料購入費	22,440	0.7%	607,771	21.6%	163,779	36.5%	42,832	1.6%	2,200	0.4%	13,200	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
人件費	560,131	17.4%	0	0.0%	0	0.0%	536,646	20.2%	0	0.0%	146,019	27.0%	351,378	66.1%	363,600	58.7%
事務所費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	3,222,799	100%	2,815,654	100%	448,968	100%	2,658,997	100%	540,264	100%	540,830	100%	531,378	100%	619,135	100%
返還額	0		0		2,206,032		0		0		0		8,622		0	

※所属する議員及び議員名は、令和３年度時点のものです。
※率は各費目ごとに四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。
※池田議員は5月から無会派へ、蛭田議員、渡部議員、森久保議員は5月分から交付しています。